

言頭卷

会長 木村高久

新型コロナウイルス（以下、新型コロナという。）の感染は世界に蔓延しています。WHO（世界保健機構）のテドロス事務局長は3月11日に「世界的大流行（パンデミック）」を宣言しました。3月31日現在の感染状況は国内では2128人（死者 59人）、国外は184の国・地域に75万7940人（死者3万6674人）です。

まだまだ世界各地で拡大しそうな気配です。どうぞ皆様、感染されませんよう十分にご注意願います。

ところで新型コロナは、世界中の社会・経済などあらゆる分野に多大な被害を与えています。わが国念願の東京五輪・パラリンピックも残念ながら1年程度の延期となりました。

本会でも新型コロナのため「3月・4月例会」さらに4月の「歴史散歩」および5月の「バス旅行」につきまして不本意ではありますが中止とさせていただきます。会員の皆様にご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げます。

ところで、『続日本紀』によれば天平9年（737）4月九州で感染症の一つである天然痘（疱瘡）が流

行し多くの人々が亡くなりました。同月以降に藤原不比等の子息4名も薨じましたし、幕末の孝明天皇も天然痘にて崩御されました。この様に恐ろしい天然痘も今日では撲滅に成功しております。従ってこの新型コロナも世界の人々の協力で近い将来、人類のコントロール下に置くことが出来ると信じています。

さて新型コロナの猛威があっても私達の歴史を学んでいこうという情熱は決して消すことは出来ません。感染が落ち着きましたら令和4年の創立40周年を目指し様々な事業に果敢に挑戦してまいりたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。

いまは、会報の発刊時（本年5月末）までに新型コロナが収束することを祈るばかりです。

（令和2年3月31日現在記）



作画・藤盛詔子氏 作